

■点検結果調書 トンネル変状・異常箇所写真位置図

フリガナ 名 称		コオリガセズイドウ 氷ヶ瀬隧道		路線名		村道 第38号線		管理者名		王滝村役場		緊急輸送道路		なし		
												代替路の有無		なし		
所在地		自	長野県木曽郡王滝村	点検業者・点検者名		㈱千代田コンサルタント・柴山敬三郎		点検年月日		2018年11月4日		トンネル延長		L= 61.30 m		
		至	長野県木曽郡王滝村	調査業者・調査技術者名				調査年月日				トンネルの分類		その他		
起点	緯度	35° 47' 35"		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化	Ⅱ	11 箇所	Ⅲ	0 箇所	Ⅳ	0 箇所	トンネル毎 の健全性	Ⅱ	附属物の 取付状態	×
	経度	137° 30' 34"				漏水	Ⅱ	9 箇所	Ⅲ	0 箇所	Ⅳ	0 箇所				
終点	緯度	35° 47' 36"				外力	Ⅱ	0 スパン	Ⅲ	0 スパン	Ⅳ	0 スパン				
	経度	137° 30' 31"														0箇所

トンネル変状・異常箇所写真位置図

覆工スパン番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
覆工スパン長 (m)	9.0	7.5	13.5	9.0	8.9	9.0	4.4
起点側坑口からの距離 (m)		9.0	16.5	30.0	39.0	47.9	56.9

至 村役場

至 滝越

4850

2450

RI=2000

TS

左側壁

写真-S1-1

写真-S1-2

写真-S5-4

写真-S5-1

写真-S5-2

写真-S7-1

写真-S7-2

アーチ部

写真-S1-3

写真-S2-2

写真-S2-1

右側壁

写真-S4-2

写真-S4-1

写真-S4-3

写真-S5-3

写真-S5-5

4850

2450

RI=2000

TS

路面

写真-S1-4

写真-S1-5

写真番号の記載例

写真-【覆工スパン番号】-【変状番号 1~】

写真-【覆工スパン番号】-【異常番号101~】

注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。

注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。

注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。

注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。

注5：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること。

※1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。

※2 本体工の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ（対策実施後のⅠを含む）について記載すること。

※3 附属物の異常に対しては、判定区分×（対策実施後の○を含む）について記載すること。

■点検結果調書 トンネル変状・異常箇所写真位置図

フリガナ 名 称		コオリガセズイドウ 氷ヶ瀬隧道		路線名	村道 第38号線			管理者名		王滝村役場			緊急輸送道路	なし					
													代替路の有無	なし					
所在地		自	長野県木曽郡王滝村	点検業者・点検者名		㈱千代田コンサルタント・柴山敬三郎			点検年月日		2018年11月4日		トンネル延長	L= 61.30 m					
		至	長野県木曽郡王滝村	調査業者・調査技術者名					調査年月日				トンネルの分類	その他					
起点	緯度	35° 47' 35"		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体内工	材質劣化	Ⅱ	11 箇所	Ⅲ	0 箇所	Ⅳ	0 箇所	トンネル毎 の健全性	Ⅱ	附属物の 取付状態	×			
	経度	137° 30' 34"				漏水	Ⅱ	9 箇所	Ⅲ	0 箇所	Ⅳ	0 箇所							
終点	緯度	35° 47' 36"				外力	Ⅱ	0 スパン	Ⅲ	0 スパン	Ⅳ	0 スパン							
	経度	137° 30' 31"																	

起点側坑門工

終点側坑門工

写真番号の記載例

写真-【覆工スパン番号】-【変状番号 1～】

写真-【覆工スパン番号】-【異常番号101～】

注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。

注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。

注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。

注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。

注5：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること。

- ※1 トンネル本体内の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。
- ※2 本体内の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ（対策実施後のⅠを含む）について記載すること。
- ※3 附属物の異常に対しては、判定区分×（対策実施後の○を含む）について記載すること。

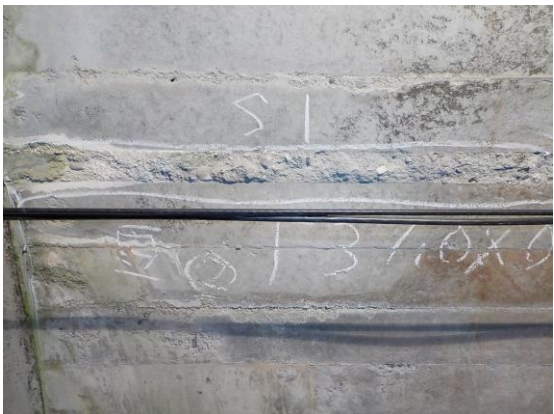
■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		コウリガセ ズイドウ		路線名	村道 第38号線	点検業者・点検者名	(株)千代田コンサルタント・柴山敬三郎		点検年月日	2018年11月4日			
		氷ヶ瀬隧道		管理者名	王滝村役場	調査業者・調査技術者名			調査年月日				
写真 番号	覆工 スパン 番号	PS				写真 番号	覆工 スパン 番号	PE					
	変状 番号	1					変状 番号	1					
変状 部位	対象 箇所	坑口				変状 部位	対象 箇所	坑口					
	部位 区分	面壁					部位 区分	面壁					
変状区分		材質劣化				変状区分		材質劣化					
変状種類		豆板(ジャンカ)				変状種類		はく落					
健全性	点検・調査後	Ⅱ				健全性	点検・調査後	Ⅱ					
	措置後						措置後						
変状の発生範囲の規模		0.2㎡		1.0m×0.2m		変状の発生範囲の規模		0.03㎡		0.1m×0.3m			
前回点検時の状態		なし				前回点検時の状態		なし					
調査(方針)		なし		実施状況(実施日)		調査(方針)		なし		実施状況(実施日)			
措置(方針)		なし		実施状況(実施日)		措置(方針)		なし		実施状況(実施日)			
メモ		起点側面壁の豆板(ジャンカ)。周囲に打音異常を伴わないため、利用者への影響は少ない。Ⅱb											
写真 番号	覆工 スパン 番号	PE				写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号	2					変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	覆工				変状 部位	対象 箇所						
	部位 区分	天端					部位 区分						
変状区分		材質劣化				変状区分							
変状種類		豆板(ジャンカ)				変状種類							
健全性	点検・調査後	Ⅱ				健全性	点検・調査後						
	措置後						措置後						
変状の発生範囲の規模		0.02㎡		0.1m×0.2m		変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態		なし				前回点検時の状態							
調査(方針)		なし		実施状況(実施日)		調査(方針)				実施状況(実施日)			
措置(方針)		なし		実施状況(実施日)		措置(方針)				実施状況(実施日)			
メモ		終点側面壁のはく落。周囲に新たな打音異常を伴わないため、利用者への影響は少ない。Ⅱb											

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		コウリガセ ズイドウ 氷ヶ瀬隧道		路線名	村道 第38号線	点検業者・点検者名	(株)千代田コンサルタント・柴山敬三郎	点検年月日	2018年11月4日				
				管理者名	王滝村役場	調査業者・調査技術者名		調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S1											
	変状 番号	1											
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工							
	部位 区分	左側壁			部位 区分	左側壁							
変状区分		材質劣化		変状区分		漏水							
変状種類		はく落		変状種類		にじみ							
健全性	点検・調査後	Ⅱ		健全性	点検・調査後	Ⅱ							
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		0.075㎡		変状の発生範囲の規模		0.3㎡		0.5m×0.5m					
前回点検時の状態		なし		前回点検時の状態		なし							
調査(方針)		なし		調査(方針)		なし		実施状況(実施日)					
措置(方針)		なし		措置(方針)		なし		実施状況(実施日)					
メモ		左側壁のはく落。周囲に新たな打音異常を伴わないため、利用者への影響は少ない。Ⅱb											
写真 番号	覆工 スパン 番号	S1											
	変状 番号	3											
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	路面							
	部位 区分	天端			部位 区分	車道							
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化							
変状種類		豆板(ジャンカ)		変状種類		破損							
健全性	点検・調査後	Ⅱ		健全性	点検・調査後	Ⅱ							
	措置後				措置後								
変状の発生範囲の規模		0.1㎡		変状の発生範囲の規模		0.06㎡		0.2m×0.3m					
前回点検時の状態		なし		前回点検時の状態		なし							
調査(方針)		なし		調査(方針)		なし		実施状況(実施日)					
措置(方針)		なし		措置(方針)		なし		実施状況(実施日)					
メモ		天端表面の豆板(ジャンカ)。周囲に打音異常を伴わないため、利用者への影響は少ない。Ⅱb											

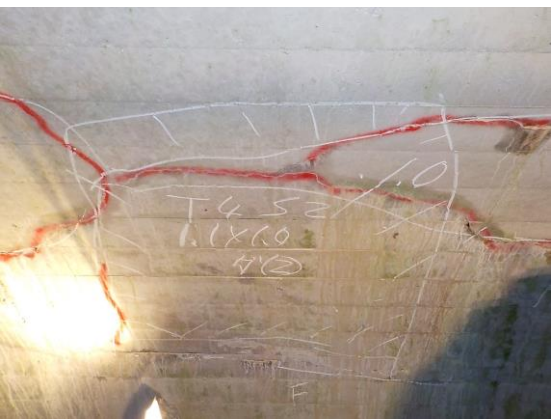
※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。

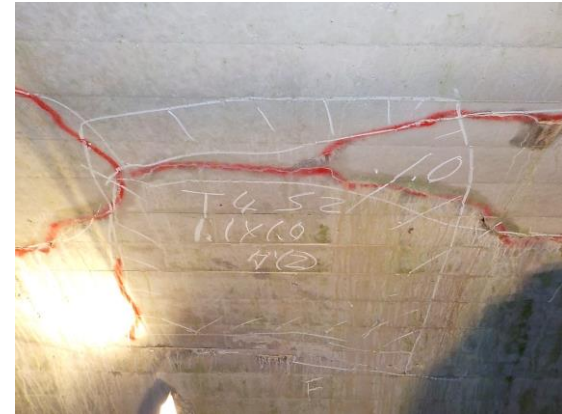
※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。

※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		コウリガセ ズイドウ		路線名	村道 第38号線	点検業者・点検者名	(株)千代田コンサルタント・柴山敬三郎		点検年月日	2018年11月4日	
名 称		氷ヶ瀬隧道		管理者名	王滝村役場	調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S1		写真 番号	覆工 スパン 番号	S2		写真 番号			
	変状 番号	5			変状 番号	1					
変状 部位	対象 箇所	路面		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位			
	部位 区分	車道			部位 区分	右アーチ					
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分			
変状種類		破損		変状種類		うき・はく離		変状種類			
健全性	点検・調査後	Ⅱ		健全性	点検・調査後	Ⅱ		健全性			
	措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模		0.12㎡		変状の発生範囲の規模		1.1㎡		変状の発生範囲の規模		1.1m×1.0m	
前回点検時の状態		なし		前回点検時の状態		なし		前回点検時の状態		なし	
調査(方針)		なし		調査(方針)		なし		調査(方針)		なし	
措置(方針)		なし		措置(方針)		なし		措置(方針)		なし	
メモ		車道部(アスファルト)の破損(欠損)。軽微なため利用者への影響は少ない。Ⅱb									
写真 番号	覆工 スパン 番号	S2		写真 番号	覆工 スパン 番号	S4		写真 番号			
	変状 番号	2			変状 番号	1					
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位			
	部位 区分	天端			部位 区分	右側壁					
変状区分		材質劣化		変状区分		漏水		変状区分			
変状種類		破損		変状種類		にじみ		変状種類			
健全性	点検・調査後	Ⅱ		健全性	点検・調査後	Ⅱ		健全性			
	措置後				措置後						
変状の発生範囲の規模		0.05㎡		変状の発生範囲の規模		1.25㎡		変状の発生範囲の規模		0.5m×2.5m	
前回点検時の状態		なし		前回点検時の状態		なし		前回点検時の状態		なし	
調査(方針)		なし		調査(方針)		なし		調査(方針)		なし	
措置(方針)		なし		措置(方針)		なし		措置(方針)		なし	
メモ		導水工の破損(はがれ)。漏水は伴わない。軽微なため利用者への影響は少ない。Ⅱb									
メモ		右側壁縦断方向打ち継目からの湧水。Ⅱb									



※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		コウリガセ ズイドウ		路線名	村道 第38号線	点検業者・点検者名	(株)千代田コンサルタント・柴山敬三郎		点検年月日	2018年11月4日	
名 称		氷ヶ瀬隧道		管理者名	王滝村役場	調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S4									
	変状 番号	2									
変状 部位	対象 箇所	覆工									
	部位 区分	右側壁									
変状区分		漏水									
変状種類		にじみ									
健全性	点検・調査後	Ⅱ									
	措置後										
変状の発生範囲の規模		0.12㎡	0.4m×0.3m								
前回点検時の状態		なし									
調査(方針)		なし	実施状況(実施日)								
措置(方針)		なし	実施状況(実施日)								
メモ		右側壁縦断方向打ち継目からの湧水。Ⅱb									
写真 番号	覆工 スパン 番号	S5									
	変状 番号	1									
変状 部位	対象 箇所	覆工									
	部位 区分	左側壁									
変状区分		漏水									
変状種類		にじみ									
健全性	点検・調査後	Ⅱ									
	措置後										
変状の発生範囲の規模		0.04㎡	0.2m×0.2m								
前回点検時の状態		なし									
調査(方針)		なし	実施状況(実施日)								
措置(方針)		なし	実施状況(実施日)								
メモ		左側壁ひび割れからの湧水。遊離石灰を伴う。Ⅱb									
写真 番号	覆工 スパン 番号	S4									
	変状 番号	3									
変状 部位	対象 箇所	覆工									
	部位 区分	右側壁									
変状区分		漏水									
変状種類		にじみ									
健全性	点検・調査後	Ⅱ									
	措置後										
変状の発生範囲の規模		3.75㎡	1.5m×2.5m								
前回点検時の状態		なし									
調査(方針)		なし	実施状況(実施日)								
措置(方針)		なし	実施状況(実施日)								
メモ		右側壁縦断方向打ち継目からの湧水。遊離石灰を伴う。Ⅱb									
写真 番号	覆工 スパン 番号	S5									
	変状 番号	2									
変状 部位	対象 箇所	覆工									
	部位 区分	左側壁									
変状区分		漏水									
変状種類		にじみ									
健全性	点検・調査後	Ⅱ									
	措置後										
変状の発生範囲の規模		0.25㎡	0.5m×0.5m								
前回点検時の状態		なし									
調査(方針)		なし	実施状況(実施日)								
措置(方針)		なし	実施状況(実施日)								
メモ		左側壁縦断方向打ち継目からの湧水。遊離石灰を伴う。Ⅱb									

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。

※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。

※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		コウリガセ ズイドウ		路線名	村道 第38号線	点検業者・点検者名	(株)千代田コンサルタント・柴山敬三郎		点検年月日	2018年11月4日	
名 称		氷ヶ瀬隧道		管理者名	王滝村役場	調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S5									
	変状 番号	3									
変状 部位	対象 箇所	覆工									
	部位 区分	右側壁									
変状区分		漏水									
変状種類		にじみ									
健全性	点検・調査後	Ⅱ									
	措置後										
変状の発生範囲の規模		0.25㎡	0.5m×0.5m								
前回点検時の状態		なし									
調査(方針)		なし	実施状況(実施日)								
措置(方針)		なし	実施状況(実施日)								
メモ		右側壁縦断方向打ち継目からの湧水。遊離石灰を伴う。Ⅱb									
写真 番号	覆工 スパン 番号	S5									
	変状 番号	5									
変状 部位	対象 箇所	覆工									
	部位 区分	右側壁									
変状区分		材質劣化									
変状種類		鋼材露出									
健全性	点検・調査後	Ⅱ									
	措置後										
変状の発生範囲の規模		0.01㎡	0.1m×0.1m								
前回点検時の状態		なし									
調査(方針)		なし	実施状況(実施日)								
措置(方針)		なし	実施状況(実施日)								
メモ		右側壁下部の鋼材露出(3か所)。Ⅱb									

写真 番号	覆工 スパン 番号	S5									
	変状 番号	4									
変状 部位	対象 箇所	覆工									
	部位 区分	左側壁									
変状区分		材質劣化									
変状種類		鋼材露出									
健全性	点検・調査後	Ⅱ									
	措置後										
変状の発生範囲の規模		0.01㎡	0.1m×0.1m								
前回点検時の状態		なし									
調査(方針)		なし	実施状況(実施日)								
措置(方針)		なし	実施状況(実施日)								
メモ		左側壁下部の鋼材露出(2か所)。Ⅱb									
写真 番号	覆工 スパン 番号	S7									
	変状 番号	1									
変状 部位	対象 箇所	覆工									
	部位 区分	天端									
変状区分		漏水									
変状種類		にじみ									
健全性	点検・調査後	Ⅱ									
	措置後										
変状の発生範囲の規模		7.5㎡	1.5m×5.0m								
前回点検時の状態		なし									
調査(方針)		なし	実施状況(実施日)								
措置(方針)		なし	実施状況(実施日)								
メモ		天端目地から左アーチ部にかけての湧水。Ⅱb									

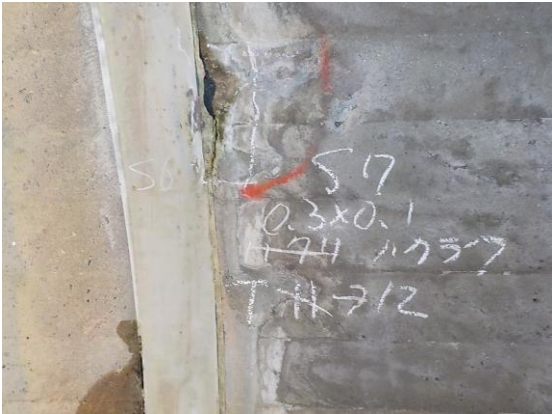
※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。

※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。

※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ 名 称		コウリガセ ズイドウ 氷ヶ瀬隧道		路線名	村道 第38号線		点検業者・点検者名	(株)千代田コンサルタント・柴山敬三郎		点検年月日	2018年11月4日	
				管理者名	王滝村役場		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S7			写真 番号	覆工 スパン 番号						
	変状 番号	2				変状 番号						
変状 部位	対象 箇所	覆工			変状 部位		対象 箇所					
	部位 区分	左アーチ				部位 区分						
変状区分		材質劣化			変状区分							
変状種類		うき・はく離			変状種類							
健全性	点検・調査後	Ⅱ			健全性	点検・調査後						
	措置後					措置後						
変状の発生範囲の規模		0.03㎡ 0.1m×0.3m			変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態		なし			前回点検時の状態							
調査(方針)		なし		調査(方針)								
措置(方針)		なし		措置(方針)								
メモ		左アーチ部横断面目のうき・はく離。軽微なため利用者への影響は少ない。Ⅱb		メモ								
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号							
	変状 番号				変状 番号							
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所							
	部位 区分				部位 区分							
変状区分				変状区分								
変状種類				変状種類								
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後							
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模								
前回点検時の状態				前回点検時の状態								
調査(方針)				調査(方針)								
措置(方針)				措置(方針)								
メモ				メモ								

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。